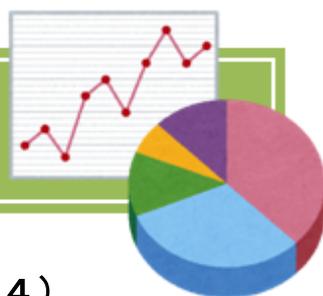


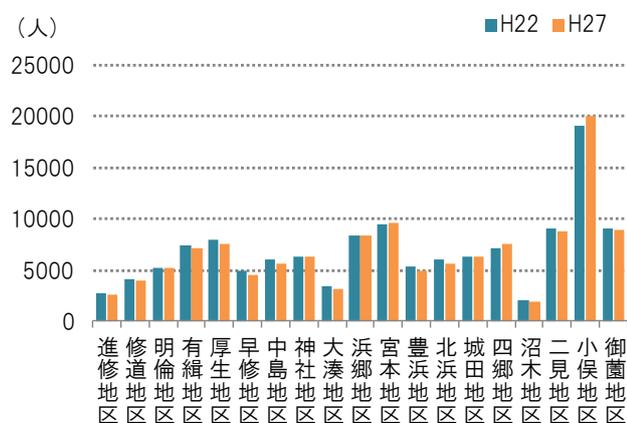
伊勢市統計レポート



平成27年国勢調査 小地域集計（町丁別）結果（4）

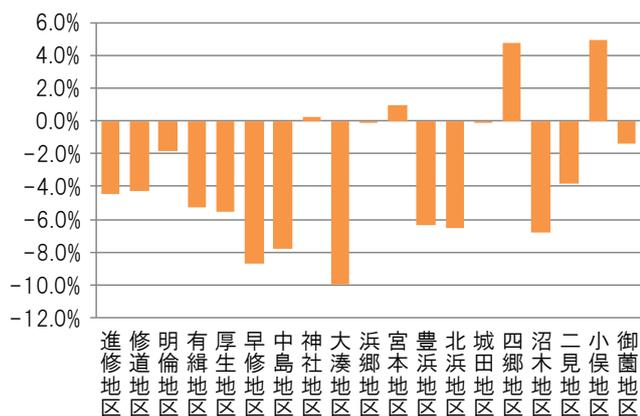
平成27年国勢調査によると平成27年10月1日の伊勢市の人口は127,817人で、前回の平成22年国勢調査に比べ、2,454人減少しています。市内の地区別に増減をみていきます。

人口総数の推移（地区別）



	H22 (人)	H27 (人)	増減数 (人)	増減率 (%)
進修地区	2,745	2,623	△122	△4.4
修道地区	4,177	3,998	△179	△4.3
明倫地区	5,259	5,162	△97	△1.8
有緝地区	7,462	7,070	△392	△5.3
厚生地区	8,010	7,569	△441	△5.5
早修地区	4,901	4,475	△426	△8.7
中島地区	6,031	5,560	△471	△7.8
神社地区	6,302	6,316	14	0.2
大湊地区	3,455	3,110	△345	△10.0
浜郷地区	8,355	8,349	△6	△0.1
宮本地区	9,526	9,615	89	0.9
豊浜地区	5,301	4,962	△339	△6.4
北浜地区	6,000	5,605	△395	△6.6
城田地区	6,247	6,243	△4	△0.1
四郷地区	7,152	7,488	336	4.7
沼木地区	2,059	1,919	△140	△6.8
二見地区	9,098	8,747	△351	△3.9
小俣地区	19,137	20,079	942	4.9
御菌地区	9,054	8,927	△127	△1.4
合計	130,271	127,817	△2,454	△1.9

人口総数の増減率（地区別）



増減率をみると、増加しているのは、わずか4地区で、小俣地区（4.9%）、四郷地区（4.7%）が増加の上位となっています。その他の15地区は、減少しており、大湊地区（△10.0%）、早修地区（△8.7%）、中島地区（△7.8%）が減少の上位となっています。

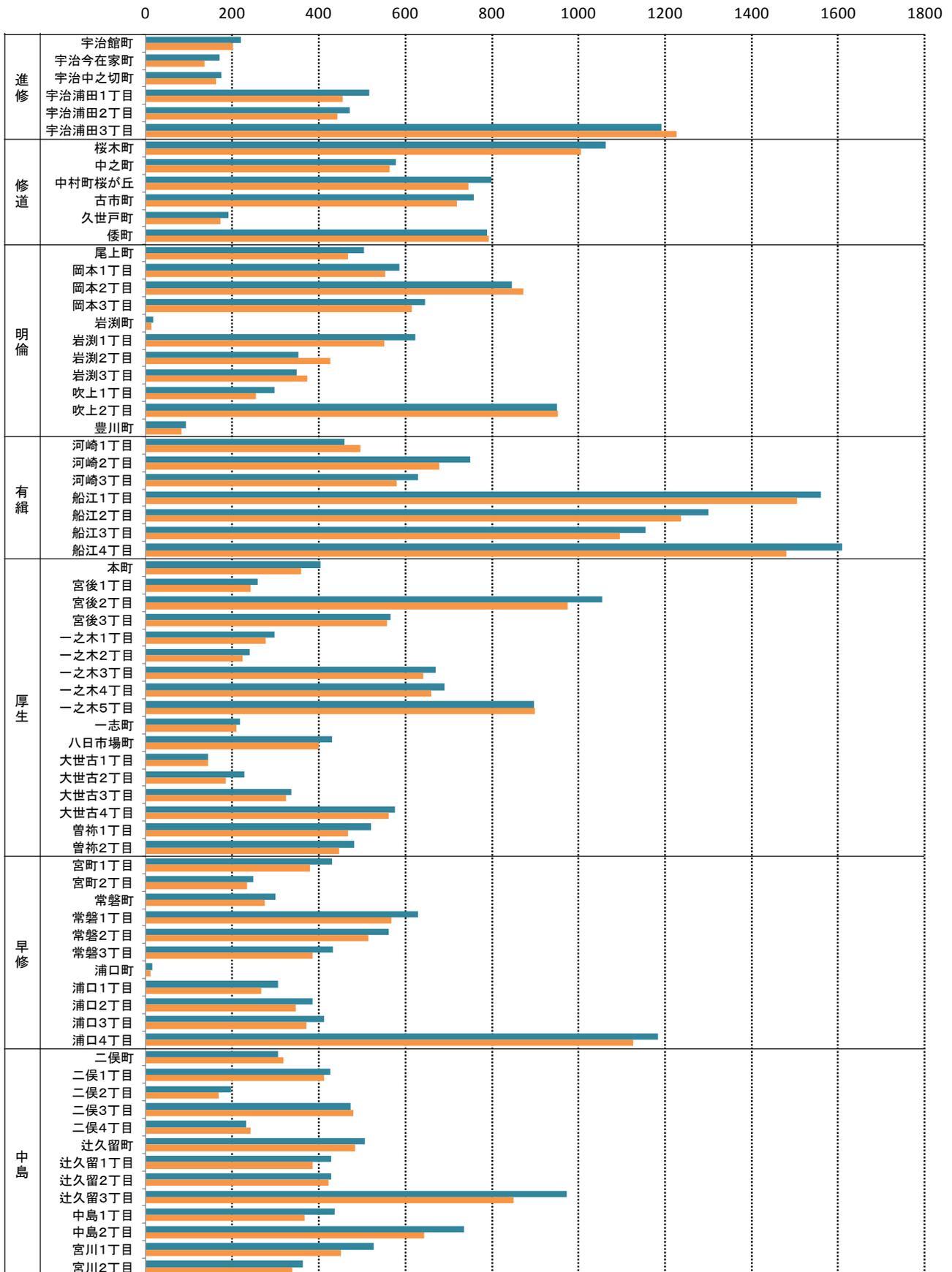
次のページで、町丁別の人口の増減をみてみよう。



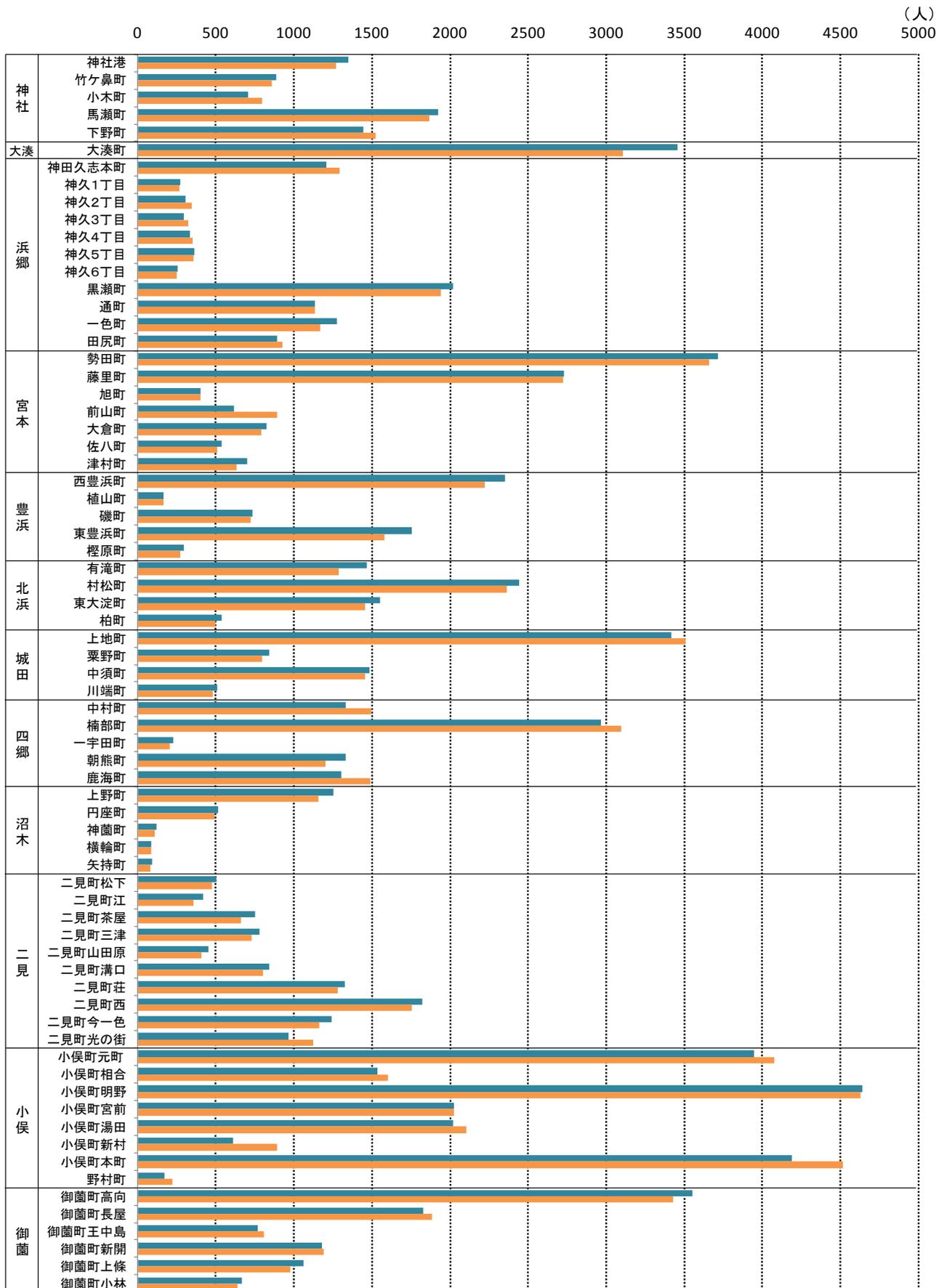
人口総数の推移（町丁別）

■ H22 ■ H27

(人)



H22 H27

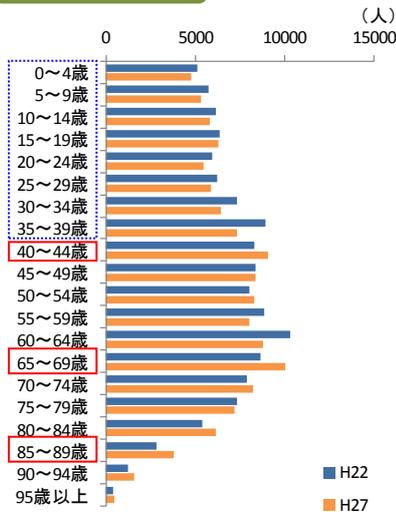


※各町丁の人口総数については、市ホームページー統計資料ー国勢調査の各年調査結果をご覧ください。

人口総数（年齢別）

※年齢不詳は含んでいません。

全 体



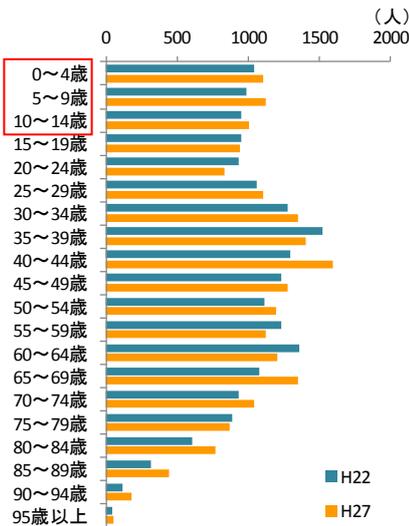
市全体の人口総数の増減を5歳ごとの年齢別にみると65～69歳の増加が最も多く、次いで、85～89歳、40～44歳となっています。65～69歳と40～44歳はもともと人口が多い団塊世代と団塊ジュニア世代であり、それぞれ平成22年国勢調査から平成27年国勢調査にかけて年齢を重ねたと考えられます。また、85～89歳の増加については、長寿化が進んでいることが考えられます。

一方、39歳以下はどの年代も減少しており、少子化の進行が人口総数の減少を引き起こしているといえます。

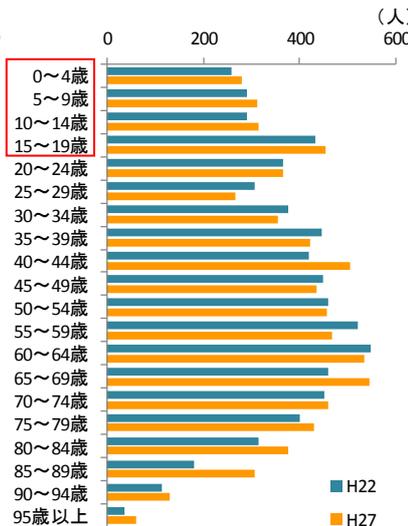


増 加

1位 小俣地区



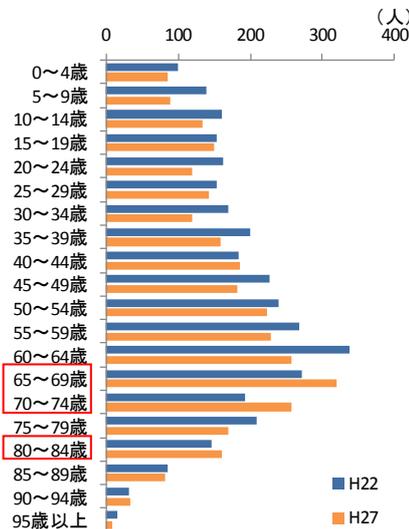
2位 四郷地区



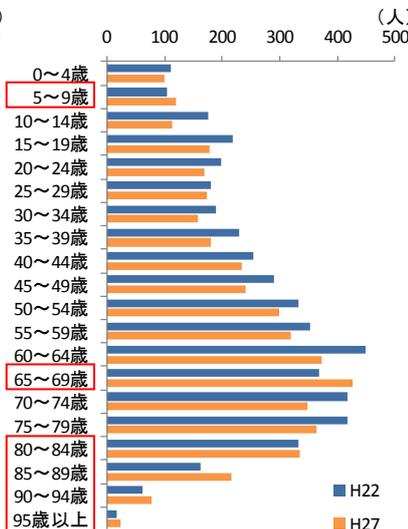
人口総数の増加率上位の小俣地区、四郷地区について、5歳ごとの年齢別人口をみると、市全体の傾向と異なり、小俣地区では、0～14歳の年少人口で、四郷地区では、0～19歳の年代で人口が増加しています。

減 少

1位 大湊地区



2位 早修地区



人口総数の減少率上位の大湊地区、早修地区を5歳ごとの年齢別人口をみると、大湊地区は、65～74歳、80歳～84歳などの一部の年代を除き、ほとんどの年代で減少しています。

また、早修地区は5～9歳、65～69歳、80歳以上の年代以外では減少しています。

世帯数

	H22	H27	差
一般世帯	49,287	50,834	1,547
施設等の世帯 ※	74	104	30
総世帯数	49,361	50,938	1,577
1世帯あたりの人員	2.64	2.51	△0.13

※施設等の世帯とは...

寮・寄宿舎の生徒、病院・療養所の入院者、社会施設の入所者、自衛隊営舎内の居住者などで、国勢調査では、主に棟ごとに1世帯として集計されます。

一般世帯の家族類型による集計

	一般世帯数			(再掲) 6歳未満世帯員の いる一般世帯数			(再掲) 18歳未満世帯員の いる一般世帯数			(再掲) 65歳以上世帯員の いる一般世帯数			(再掲) 65歳以上世帯員のみ の一般世帯数		
	H22	H27	差	H22	H27	差	H22	H27	差	H22	H27	差	H22	H27	差
総数	49,287	50,834	1,547	4,657	4,360	△ 297	12,150	11,415	△ 735	22,214	24,227	2,013	10,675	12,882	2,207
核家族世帯 ※	29,106	30,305	1,199	3,658	3,685	27	9,024	9,143	119	10,959	12,863	1,904	5,261	6,233	972
核家族以外の世帯	7,012	5,577	△ 1,435	975	659	△ 316	3,037	2,180	△ 857	6,038	4,935	△ 1,103	280	298	18
非親族を含む世帯 ※	354	345	△ 9	24	16	△ 8	53	47	△ 6	106	116	10	23	38	15
単独世帯 ※	12,684	14,586	1,902	-	-	-	36	45	9	5,111	6,313	1,202	5,111	6,313	1,202
世帯の家族類型 「不詳」	131	21	△ 110	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(再掲)うち夫婦のみ	10,694	11,333	639	-	-	-	-	1	1	6,370	7,362	992	5,151	6,098	947
(再掲)うち夫婦と 子供から成る世帯	13,952	14,130	178	3,438	3,463	25	7,822	7,847	25	2,566	3,147	581	4	7	3
(再掲)3世代世帯 ※	4,972	3,770	△ 1,202	957	643	△ 314	2,948	2,111	△ 837	4,338	3,386	△ 952	-	-	-

※核家族世帯とは...夫婦のみ、夫婦と子供、男親と子供、女親と子供から成る世帯

※非親族を含む世帯とは...二人以上の世帯員から成る世帯のうち、世帯主と親族関係にない人がいる世帯

※単独世帯とは...世帯人員が一人の世帯

※3世代世帯とは...世帯主との続きが柄が、祖父母、世帯主の父母（又は世帯主の配偶者の父母）、世帯主（又は世帯主の配偶者）、子（又は子の配偶者）及び孫の直系世代のうち、三つ以上の世代が同居していることが判定可能な世帯

平成27年の人口総数は、平成22年と比べると2,454人減少していますが、総世帯数では、1,577世帯増加しています。

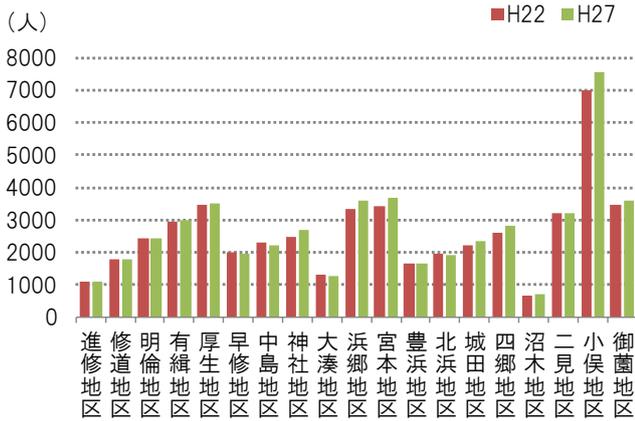
一般世帯を家族類型ごとの集計で見ると、単独世帯が1,902世帯増加しており、その内訳としては、65歳以上の単独世帯が増加（1,202世帯増）しているだけでなく、前回レポートでも紹介したように、未婚化、晩婚化、離婚の増加により、若い世代の単身世帯が増加していることが考えられます。

また、核家族世帯が増加（1,199世帯）する一方、3世代世帯は減少（1,202世帯減）しており、世帯規模が縮小しています。

この結果、1世帯あたりの人数は、平成22年は2.64人でしたが平成27年は2.51人で1世帯あたりの人数が減っています。

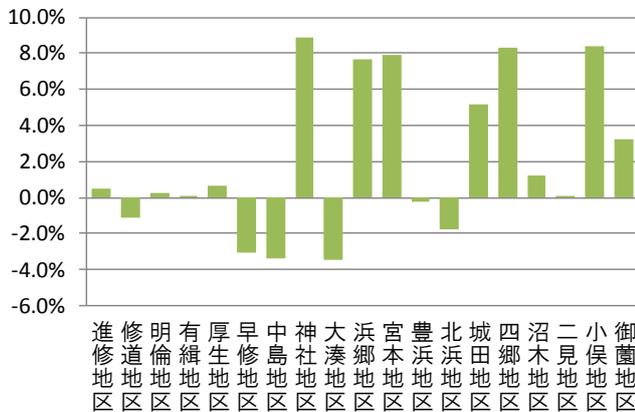


世帯数の推移（地区別）

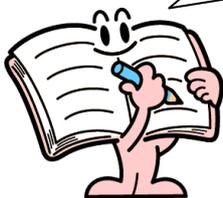


	H22 (世帯)	H27 (世帯)	増減数 (世帯)	増減率 (%)
進修地区	1,087	1,092	5	0.5
修道地区	1,800	1,780	△20	△1.1
明倫地区	2,419	2,424	5	0.2
有緝地区	2,969	2,972	3	0.1
厚生地区	3,470	3,492	22	0.6
早修地区	2,016	1,955	△61	△3.0
中島地区	2,298	2,220	△78	△3.4
神社地区	2,483	2,703	220	8.9
大湊地区	1,296	1,251	△45	△3.5
浜郷地区	3,338	3,594	256	7.7
宮本地区	3,410	3,680	270	7.9
豊浜地区	1,667	1,663	△4	△0.2
北浜地区	1,938	1,903	△35	△1.8
城田地区	2,221	2,335	114	5.1
四郷地区	2,613	2,831	218	8.3
沼木地区	678	686	8	1.2
二見地区	3,198	3,199	1	0.0
小俣地区	6,989	7,576	587	8.4
御蘭地区	3,471	3,582	111	3.2
合計	49,361	50,938	1,577	3.2

世帯数の増減率（地区別）



世帯数の増減を地区別にみると、世帯数増加率上位の4地区（神社・小俣・四郷・宮本）は、1ページの人口総数についても増加率が上位であり、世帯数が減少している6地区（修道・早修・中島・大湊・豊浜・北浜）は、人口総数の減少も顕著になっています。



地区別ランキング（増減率）H22→H27

人口総数（増減率）						世帯数（増減率）					
1	小俣地区	4.9%	11	進修地区	△4.4%	1	神社地区	8.9%	11	明倫地区	0.2%
2	四郷地区	4.7%	12	有緝地区	△5.3%	2	小俣地区	8.4%	12	有緝地区	0.1%
3	宮本地区	0.9%	13	厚生地区	△5.5%	3	四郷地区	8.3%	13	二見地区	0.0%
4	神社地区	0.2%	14	豊浜地区	△6.4%	4	宮本地区	7.9%	14	豊浜地区	△0.2%
5	城田地区	△0.1%	15	北浜地区	△6.6%	5	浜郷地区	7.7%	15	修道地区	△1.1%
6	浜郷地区	△0.1%	16	沼木地区	△6.8%	6	城田地区	5.1%	16	北浜地区	△1.8%
7	御菌地区	△1.4%	17	中島地区	△7.8%	7	御菌地区	3.2%	17	早修地区	△3.0%
8	明倫地区	△1.8%	18	早修地区	△8.7%	8	沼木地区	1.2%	18	中島地区	△3.4%
9	二見地区	△3.9%	19	大湊地区	△10.0%	9	厚生地区	0.6%	19	大湊地区	△3.5%
10	修道地区	△4.3%				10	進修地区	0.5%			

町丁別ランキング（増加）H22→H27

人口総数（増加率）			人口総数（増加数）			世帯数（増加率）		
1	小俣町新村	46.6%	1	小俣町本町	328人	1	前山町	50.0%
2	前山町	45.1%	2	小俣町新村	284人	2	小俣町新村	44.2%
3	野村町	30.0%	3	前山町	278人	3	小木町	36.6%
4	岩渕2丁目	21.3%	4	鹿海町	188人	4	岩渕2丁目	30.6%
5	二見町光の街	16.8%	5	中村町	163人	5	神久3丁目	26.2%
6	鹿海町	14.5%	6	二見町光の街	162人	6	鹿海町	25.1%
7	小木町	13.4%	7	楠部町	132人	7	野村町	23.3%
8	神久2丁目	12.7%	8	小俣町元町	129人	8	河崎1丁目	20.7%
9	中村町	12.3%	9	小木町	94人	9	二見町光の街	17.3%
10	神久3丁目	8.4%	10	上地町	92人	10	植山町	16.7%

町丁別ランキング（減少）H22→H27

人口総数（減少率）			人口総数（減少数）			世帯数（減少率）		
1	浦口町	△21.4%	1	大湊町	△345人	1	二俣2丁目	△19.8%
2	宇治今在家町	△21.1%	2	有滝町	△179人	2	岩渕1丁目	△17.2%
3	岩渕町	△18.8%	3	東豊浜町	△175人	3	大世古2丁目	△16.5%
4	大世古2丁目	△18.5%	4	船江4丁目	△130人	4	中島1丁目	△13.5%
5	中島1丁目	△16.0%	4	西豊浜町	△130人	5	豊川町	△11.8%
6	二俣2丁目	△14.7%	6	朝熊町	△127人	6	矢持町	△11.1%
7	吹上1丁目	△14.5%	7	辻久留3丁目	△123人	7	宇治館町	△10.4%
8	宮川1丁目	△14.4%	8	御菌町高向	△123人	8	有滝町	△9.8%
9	二見町江	△14.1%	9	一色町	△106人	9	二見町江	△9.7%
10	浦口1丁目	△13.1%	10	東大淀町	△97人	10	宮川1丁目	△9.0%